

紀要「蒼崗(そうこう)」 名前の由来

本校開校 2 年目が過ぎ 3 年目を迎えようとしていた昭和 62 年 3 月 31 日、栃木県立足利中央養護学校昭和 61 年度紀要「蒼崗」第 1 号が発行された。当時は B5 版で、足利市のあさの印刷が印刷・製本した 86 ページにわたる冊子であった。表紙は緑色の上質紙を使用している。内容は、Ⅰ本校の教育、Ⅱ各学部の実践記録、Ⅲ各学部の事例研究からなる。その「あとがき」に次のようなくだりがある。

“かつて足利市の大月町と利保町の境界に沿って小高い山があり、マンガン鉱石や土砂を採取していたという。この山は一部を残しほとんど掘り尽くされた、この後を整地して本校が建設された。屋根・外装・内装のすべてを、スクールカラーと定めた緑色の色調で統一して、明るく安らぎのある校舎が建った。明るい学校という願いを込めて、安藤校長の作詞による本校校歌の中にも「緑の丘」と歌い込まれている。

ということで、本誌の名称をやはり安藤校長が緑の丘の意味で「蒼崗」と命名した。”

紀要「蒼崗」第 27 号巻頭言(第 15 代橋本伸一校長)から抜粋

